

オリオン製品をご使用の皆様

2015年4月からチラーを含む冷凍空調機器の簡易点検・定期点検が義務化されています。
【フロン排出抑制法】 ご使用の機器の冷媒(フロン)に注意が必要です。

R22 採用機器の メンテナンスに備え検討しておきませんか？

R22は2020年には実質全廃となります。

R22 が全廃になると・・・

冷凍回路の修理が困難になります

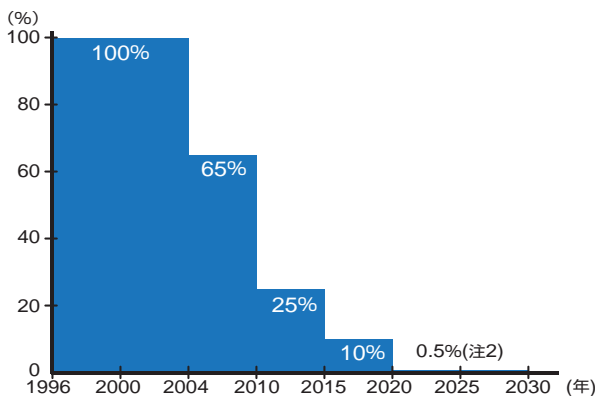
機器の故障、ラインストップ
製品の品質低下につながります



オリオン製対象製品

2003年以前にご購入頂いたオリオン製品には当時主流のR22冷媒を採用している可能性があります。

R22消費量規制スケジュール(モントリオール議定書より)



1989年の消費量(生産量+輸入量-輸出量)

の実績を基準として

1996年1月1日以降	100%以下
2004年1月1日以降	65%以下
2010年1月1日以降	25%以下
2015年1月1日以降	10%以下
2020年1月1日以降	0%

(注1)生産量については、2004年より生産量と消費量の基準の平均を超えてはならない。

(注2)ただし、冷凍空調設備の補充用冷媒に限り、消費量の基準量の0.5%を上限として2029年までに生産が認められている。

☆基準量=(HCFCの1989年 {消費量} / 生産量) + (CFCの1989年 {消費量} / 生産量) × 2.8%

2003年以前はチラーを含む温調設備の冷却はHCFC(R22)が主流でしたが、削減・全廃は政府間国際協定(モントリオール議定書:1987年)およびオゾン層保護法(1988年制定)に基づくもので、すでにCFC(R12、R502など)の生産は1996年に全廃されています。

オリオン機械はすでにR22対応製品から代替冷媒製品の生産・販売へ移行済みです。

R22 冷媒製品から新冷媒(R134a、R407C、R410A)製品に 更新をご検討ください。

オリオン機械はすでにR22対応製品から代替冷媒製品の生産・販売へ移行済みです。

ターンテーブル

エアードライヤー



チラー



除湿機



サーマルストリーム



省エネ、コンパクト、
使いやすさの追求

新モデルも続々登場 !!

感動を呼ぶ製品をめざして
ORION 70th Anniversary

冷水循環装置(チラー)をご使用の皆様
2015年4月からチラーを含む冷凍空調機器の燃費点検・定期点検が義務化されています。
【フロン排出抑制法】ご使用のチラーの冷媒(フロン)に注意が必要です。

お使いの冷水循環装置(チラー)の冷媒は R22 ではありませんか?

R22は2020年には実質全廃となります。
R22 が全廃になると・・・
冷凍回路の修理が困難になります

冷水循環が滞り、
装置の故障、ラインストップ、
品質低下に繋がります

オリオン製チラーの対象製品
2003年以前にご購入頂いたチラーには当時主流の R22 冷媒を使用している可能性があります。

【水循環小型チラー】	RKS-○○○○-D 又は D1
【水循環大型チラー】	RKL-○○○○-B1
【水循環小型チラー】	RKS-○○○○-V-A1 又は S-VA1、V-C1
【水循環大型チラー】	RKL-○○○○-VC 又は V (W) -C1、V-B、EV
【インバータチラー】	RKE-○○○○-V
【その他】	RKFOOO-V

RKS400S-VA1 RKS750V-A1 RKL3750V-C1

R22消費規制スケジュール(モントリオール議定書より)
1989年の消費量(生産量+輸入量-輸出量)の実績を基準として

1996年1月1日以降	100%以下
2004年1月1日以降	65%以下
2010年1月1日以降	35%以下
2015年1月1日以降	10%以下
2020年1月1日以降	0%

(注1)生産量については、2004年より生産量と消費量の比率の平均を超えてはならない。
(注2)ただし、本規制対象外の用途に限り、消費量の基準量の0.5%を上乗せとして2020年までに生産が認められている。
(注3)消費量=(HFCの1989年(生産量))+(CFCの1989年(消費量))×2.8%

2003年以前はチラーを含む冷凍設備の冷媒はHCFC(R22)が主流でしたが、順次全廃は政府閣議決定(モントリオール議定書:1987年)およびオゾン層保護法(1988年制定)に基づき、すでにCFC(R12、R502など)の生産は1996年に全廃されています。
オリオン機械はすでにR22対応製品から代替冷媒製品の生産・販売へ移行済みです。

感動を呼ぶ製品をめざして
ORION 70th Anniversary

冷凍式エアードライヤーをご使用の皆様
2015年4月からチラーを含む冷凍空調機器の燃費点検・定期点検が義務化されています。
【フロン排出抑制法】ご使用のエアードライヤーの冷媒(フロン)に注意が必要です。

お使いのエアードライヤーの冷媒は R22 ではありませんか?

R22は2020年には実質全廃となります。
R22 が全廃になると・・・
冷凍回路の修理が困難になります

エアに水分が混じり
装置・エア機器の故障
製品の品質低下につながります

オリオン製エアードライヤーの対象製品
2003年以前にご購入頂いたエアードライヤーには当時主流の R22 冷媒を使用している可能性があります。

【標準入風ドライヤー】	RAX-○○-B
【高入風ドライヤー】	RAX-○○-B-SE
【大型ドライヤー】	RAX-○○-B 又は○○D、D-E、D-WE

RAX-6SE-B RAX450D-WE

R22消費規制スケジュール(モントリオール議定書より)
1989年の消費量(生産量+輸入量-輸出量)の実績を基準として

1996年1月1日以降	100%以下
2004年1月1日以降	65%以下
2010年1月1日以降	35%以下
2015年1月1日以降	10%以下
2020年1月1日以降	0%

(注1)生産量については、2004年より生産量と消費量の比率の平均を超えてはならない。
(注2)ただし、本規制対象外の用途に限り、消費量の基準量の0.5%を上乗せとして2020年までに生産が認められている。
(注3)消費量=(HFCの1989年(生産量))+(CFCの1989年(消費量))×2.8%

2003年以前はチラーを含む冷凍設備の冷媒はHCFC(R22)が主流でしたが、順次全廃は政府閣議決定(モントリオール議定書:1987年)およびオゾン層保護法(1988年制定)に基づき、すでにCFC(R12、R502など)の生産は1996年に全廃されています。
オリオン機械はすでにR22対応製品から代替冷媒製品の生産・販売へ移行済みです。

点検のご用命は下記へー



オリオン機械株式会社

http://www.orionkikai.co.jp

当社製品に関するお問合せ・資料請求は

産機営業本部 TEL 026-245-1321 FAX 026-246-6753
〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
E-mail: sankibu@orionkikai.co.jp

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
更 植 工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291
千 歳 工場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16

このカタログ内容は平成 28年 10月現在のものです。
●製品写真は印刷物ですので、実際の色とは若干異なります。
●このカタログ内容の機構および仕様等は、予告なく変更することがあります。ご了承ください。